

講座07 国家と言語—多言語国家スイスから考える グローバル地域文化学部

質問：

高校2年生と3年生の選択科目で取った方が良い科目はありますか。何を取った方が良いでしょうか。

質問への回答：

グローバル地域文化学部では、現在世界で起こっているさまざまな問題をグローバルかつ地域的な問題として考えていきます。その前提として日本史および世界史と日本および世界の現代事情についての基礎知識があると良いと思います。

そのため、世界史や日本史、現代社会研究などの履修をお勧めします。

もちろん、世界の問題を理解するためには語学力も必要ですので、英語（外国語）の勉強にも力をいれてください。

また、高校時代に行っていたいただきたいのは読書です。まとまった文章を読んで理解することが大学での学びの基本となります。関心あるテーマに関して本を読んで自分の考えをまとめる訓練をしておく、大学入学後の勉強が随分楽になると思います。



質問：

この学部で学べる外国語の数の上限はいくつでしょうか。

質問への回答：

グローバル地域文化学部には3つのコースがありますが、ここでは今回の講義のヨーロッパコースについて説明させていただきます。

グローバル地域文化学部では主に1年次から3年次にかけて、英語ともう一つの言語を学んでいただく必要があります。第一言語と第二言語と言いますが、ヨーロッパコースでは第一言語はドイツ語・フランス語・スペイン語・ロシア語から一つ選択し、第二言語を英語とするパターン（初修型）と、第一言語を英語とし、第二言語としてもう一つの言語を履修するパターン（英語型）の2パターンがあります。

英語型を選択すると、第二言語としてドイツ語・フランス語・スペイン語・ロシア語が第一に推奨されていますが、イタリア語・アラビア語・トルコ語、中国語・コリア語・インドネシア語・ポルトガル語から選択することもできます。

第一言語と第二言語以外に、履修できる外国語の数の上限はありません。

ただし、一年間に登録できる科目の上限単位数が定められていますので、その範囲内で履修登録していただくことになります。

他のコースのことなども含めて、さらに詳しく知りたい場合は、以下の通り2021年度のグローバル地域文化学部の履修要項（※）が公開されていますので、ぜひ参照してみてください。

※大学での科目履修についてのルール、卒業に必要な単位数などについて示されています。

■履修要項が掲載されているページ

<https://gr.doshisha.ac.jp/students/students.html>

■カリキュラムについて（2018年度以降に入学した学生向け）

https://gr.doshisha.ac.jp/attach/page/GRS-PAGE-JA-85/150772/file/10_33-64_2018.pdf

